

## 令和2年度 学校運営協議会議事録（第1回）

日 時	令和2年5月1日（金） 午前10時～午前11時30分				
会 場	祇園小学校 会議室	司 会	膝附教頭	記 録	村 上
参加者	熊田裕子会長 鹿倉清子副会長 大貫義見様 浅和勝明様 吉住齊様 羽入由希子様 石川知子様 福岡久子様 小山田友洋 PTA 会長様 服部由佳様 秋山貴子校長 膝附和彦教頭 熊倉悠気教諭 村上昭美教諭				
議 事 内 容					
1 開会					
熊田	<p>①令和元年度会長あいさつ 今年で学校運営協議会も3年目。祇園小へのサポートも少しずつ進められるようになってきた。今年は、新型コロナウイルスの影響で活動のしにくい年になっているが、できる限り協力したい。</p>				
秋山	<p>②学校長あいさつ 4月に赴任。小学校勤務は初めてのため、ドキドキしている。新型コロナウイルス対応ということで臨時休校中。子どもたちには、まだ3日間しか会っていない。「祇園小はどんな学校なんですか」と聞かれても、どんな学校かはまだ話せない。先生方とは1ヶ月間仕事をし、本当に熱心に一生懸命いろいろなことに取り組んでいると思う。教頭先生を始めとする先生方に助けられながら、1ヶ月間過ごしてきた。子どもたちが通いたいと思う学校、そして、保護者が通わせたい学校、そして、地域と共にある祇園小であるよう、誠心誠意努める。学校運営協議会の皆様と力を合わせよりよい学校、安心して学べる学校を創っていきたい。</p>				
膝附	<p>③委嘱状交付 例年は、学校長から渡していたが、今回は机の上に配らせていただいた。氏名の確認を。</p>				
2 話し合い					
膝附	<p>①学校運営協議会の趣旨等の確認 資料「下野市学校運営協議会運営マニュアル」。(3ページ3行目～読み上げて説明)</p>				
膝附	<p>②会長・副会長の選出 委員の任期、あるいは会長及び副会長の選出。(マニュアル6ページを読み上げて説明)今年度の会長、副会長を選出は、どうするか。</p>				
福岡	会長は熊田さんをお願いしたい。				
熊田	よろしければ、務めさせていただく。(満場一致で承認)				
膝附	副会長の選出は、どうするか。				
熊田	昨年に続いて、鹿倉さんをお願いしたい。				
鹿倉	新型コロナウイルスなどいろいろあって、充分なお手伝いできないかもしれないが、自分でよければ務めさせていただこうと思う。(満場一致で承認)				
膝附	今年度の会長は熊田様、副会長は鹿倉様をお願いする。				
秋山	<p>③今年度の学校経営の基本方針の承認 資料「令和2年度祇園小学校の教育」から。 (1)学校経営の方針 「家庭と地域との連携を深め、目標やビジョンを共有し、児童のよりよい成長のために共に歩む、地域とともにある学校づくりに努める。」にある『地域とともにある』というところと昨今の新型コロナウイルスということもあるので、安全・安心な環境づくりに力を入れたい。</p>				

**(2)努力点及び主な具体策**

**(3)学校経営計画から**

【スローガン】は昨年と同じだが、「学校・家庭・地域が一丸となり」というところで、皆様のお力を貸していただきたい。

【教育目標】 【目指す児童像】は、記されているとおり。

【学校経営方針】は、学校が教職員にとって働きがいのある場、保護者・地域住民にとっては安心して子どもを預けられる場、ともに子どもの教育について考える場となるように、協働体制を構築することに努めていく。

【努力点及び具体策】は、

(2)全員参加、児童主体の「分かる・できる・楽しい」授業づくりに関しては、イ学習ボランティアとの協働というところで、皆様のお力をかしてほしい。

(5)ふるさと下野市への愛着を高める「地域とともにある学校」の推進では、地域の環境や人材をはじめ、地域の教育資源を生かした学習を積極的に取り入れる。また、イ「保護者は子育てのパートナー、地域住民は学校の応援団」の意識を持って、保護者や地域住民とのコミュニケーションを密にしたい。南河内第二中学校区小中一貫教育計画に寄り添い、9年間をつなぐ共通指導を行いたい。今年度コロナウィルスの関係で、なかなか他校との交流が計画しづらい状況になっている。

(6)「チーム祇園」として、学校教育目標を具現化する教職員の資質・向上に励む。なお本年度は、本校児童数は336名、教職員30数名で祇園小を支えていく。

- ・令和2年度トイレの様式化ということで、北側校舎の方で行われる。
- ・行事関係では、協議の上、変更がある。

膝附

学校運営方針の承認について  
承認いただけるか。(満場一致で承認)  
報告書は、学校から提出。

秋山

**④今後の学校行事予定**

○現在までの新型コロナウイルス対応の概要説明

- ・4/27～子どもとの顔合わせる機会
- ・健康状況把握のため、メールにてアンケート実施
- ・週1～2回児童宅へ電話
- ・職員の勤務状況 (各自教室にて業務、個々の昼食、天窓の常時開放、終業間近の職員室内外の消毒等)
- ・教室環境の整備 (オープンスペース化)・教室の消毒
- ・児童への課題の提示と学習のガイドライン
- ・学童対応  
(毎日2回校外巡回の際の児童への声かけ、学習支援への参加、支援員の勤務)

○今後の対応

①5/7・8 全校登校日 給食無し 午前中登校

- ・トイレ、水道のくつ型の張り紙、テープ等で立ち位置表示
- ・休み時間は教室で過ごす
- ・教職員は、7時30分出勤し、7時45分教室にて子どもを迎える
- ・地区ごとに学年下校(全員が集まることなく、指示した班から順に下校する予定)

②学校行事については、これから検討。

③5月中の臨時休業について

- ・分散登校日を週1回 1日2時間程度2地区に分け、A(木曜日)B(金曜日)として登校させる。課題や生活についての指導を行う。

膝附	○行事の検討 【学校行事年間予定表】から 運動会について。
熊田	①運動会について協議 学校は、5月開催は無理なので、10/31という考えを進めるとのことだが、何かご意見はあるか。
小山田	10月末だと遅いのでは。10/10の市の小中学校音楽祭は、やる予定か？ やらないならここが良いのではないか。
秋山	確認したが、現時点ではやる予定。
小山田	10月末達は、インフルエンザの予防接種が始まったり、朝晩冷え込んできたりする中で、子どもたちの体調管理を考えると、運動会をやる方向なら10/10の方が良いと思う。
秋山	予定表の9/27に予定したが近隣の幼稚園との兼ね合いや10/24・25が二中の文化祭が入っていることや、市の行事が予定されていることから、10/31という案になった。体調面その他諸々の心配もあるが、気温や体調に合わせて体操着を選び、長時間ではなく、運動会の練習に当てる時間や演技内容を組み替えるなど変更しながら実施したい。運動会を現時点でなくしてしまうのは心苦しい。小山田さんがおっしゃるように、コロナもやインフルエンザの予防接種もあるということも踏まえ、この日しかなかった。 平日開催も考えたが、いろいろなご意見をいただく中、本校においては、授業参観も平日が多いので、土曜日に保護者に来ていただけるのはこしい。
熊田	P T A会長の意見も最もだと思う。小中音楽祭については、まだ話合いがされていない状況で、結論が出ていない。
小山田	もう少し早く議論してもらいたい。
熊田	市民会議の方には伝えておきたい。市民会議で決定してから行政を通して連絡がある。検討していくことになる。下都賀地区の音楽発表会はあるのか。
秋山	わからない。
熊田	状況がみながら、学校とP T Aで検討してほしい。みんなの気持ちとしては、できたらやらせたい、子どもたちも楽しみにしている。
服部	個人的には運動会はやった方がいい。10/10でも10/31でもどちらでもいい。音楽祭は中止の可能性もあるが、音楽祭の日に運動会をすると決定できない理由は、その通りだと思う。インフルエンザもその年によって流行が違って、現段階では読めないが、インフルエンザが出ないように子どもたちを管理して、健康で過ごせればいいのではないかと思う。運動会は、やってもらいたい。授業時数を確保するには、なくした方がいいのかもしれないが、学校として、児童のことを考えて、勉強でない得られるものがあると考えているのだから、31日の実施でいいと思う。
熊田	地域の方ではどうか。
吉住	10月はどこでも行事が多い。運動会をやるのであれば、31日しかないのでは。最終リミットだろう。学校としては、31日に決めておいて、行政の方が変わったら、また考えていくということで決めていいのではないか。
熊田	31日でよろしいか。また行政に変更があれば、対応を考えていただくということで。
秋山	新型コロナウイルスが終息しなければ、運動会はできない。授業時数の確保となれば変更になることもあり得るが現時点で10/31とする。 続いて、7月の授業参観、懇談会、小さな校外学習は、全て中止にさせていただく。校外学習もコロナが完全に終息ではない状況であれば中止の方向しかないかという考え方でいきたい。修学旅行については、何らかの形で実施したい。7月の行事、懇談会も含めて授業参観は中止にしたい。ご意見をいただきたい。

熊田 個人的には、致し方ないと思うが。

鹿倉 授業参観となれば、保護者が集まり、おしゃべりも多くなるから、集まらない方がいいのでは。

熊田 密にしないということを見ると、授業参観はなしにしてもいいのではないか。

秋山 P T A 運営委員会の方でも検討してもらい、ご協力いただく。

小山田 夏休みの予定は、1週間短くなるのか。5月が全部休みになって、8月に休みを取るとすると、授業時数は確保できるのか。

秋山 まだわからない。何らかの形で長期休業が短くなる、もしくは土曜日の対応になる。分かり次第何らかの形で伝える。校外学習等全てなくした状態で教務主任に授業時数を計算してもらっているが、現時点では確保は難しい。

熊田 委員会の方でも結論が出せない状況のようだ。下野市だけではなく他市町との足並みがどうかというのもある。検討中の状況かと思う。学校の方もできるだけ開かれた学校という方向で示してくださっている。

浅和 行事予定表の中のクラブはやっているのか。

熊倉 クラブ活動に関しては、まだ組織づくりができていない。状況が落ち着いてから再開ということで、まだ動いていない。

浅和 そういう活動があれば、お手伝いしたい。祇園小の子に体力をつけたい。そのお手伝いがしたい。子どもを生かす手伝いがしていければと思う。大いに使ってほしい。クラブ活動ができるようになったらご協力ください。

熊田 学校の方は、厳しい状況ではあると思うのだが、学習ボランティアの方も、木・金の登校が始まったら、またご連絡いただければ、お手伝いできる。

吉住 いつも登下校についての連絡はいただいているが、今後も連絡してほしい。

福岡 F A X で連絡いただいているありがたい。でも、毎回みんなに送っているのでは先生が大変だと思うので、私には送っていただかなくても大丈夫。私は、いつも子どもたちの声がすると「下校しているんだな」と思って外へ出る。

吉住 毎回連絡するのは大変だから、P T A の L I N E のようなものをつくればいい。

服部 みなさんとコンタクトを取れる状況を考えてもいいかもしれない。

吉住 この時期だから、L I N E をやった方がいい。言葉で伝えたら、どんどん変わってしまった経験がある。だから、L I N E 等で伝え方がいいと思った。連絡があったら間違いなく伝わる。

熊田 自治会の班でも L I N E にしている。思った以上に L I N E を活用されている。

吉住 携帯を持っている人に L I N E をつくってもらえるいい。

服部 見守りをしてくださっている人への連絡方法を見直した方がいいと思う。

福岡 先生が大変だ。

服部 先生の手を煩わせないように考えた方がいい。

福岡 ホームページとかで下校時刻を載せられないか。不審者に知らせるようなことになってしまう。F A X は大変なので、何かいい方法はないかと思っているが。

服部 市のすぐメールで、できれば地域の方にも届くといいのだが。

福岡 一斉送信の中に入れてもらえれば。

秋山 市の一斉メールは、「スクールガード」という枠があるので、登録してあればできるかもしれない。関係者と相談する。確認をする。

熊田 できるかどうか、確認を。

膝附 ⑤今年度の学校運営協議会の日時の確認  
5回までの日にちと時刻を確認してほしい。3校合同運営協議会が9月15日(火)。今年度は、緑小が事務局。会場は、二中を使うかもしれない。

熊田 時間は何時か。

膝附 まだ決まっていない。昨年と同じく午後になるかと思う。

熊田 皆さんのご予定はいかがか。

石川 7月第2回は、二中と重なっているが。

秋山 時間をずらす。二中が午後なら、祇園小は午前中で調整できるか。

熊田 7月7日午前10時からでも大丈夫か。

では、7月7日（火）は、午前10時から11時30分ということによろしいか。

膝附 承知。7月7日は午前10時から。

熊田 今年度は、なかなか先が見えないが、少しでも良い活動ができればと思っている。

メンバーのお名前の入った名簿がほしい。

膝附 了解。

⑥その他

熊田 何か意見は。

服部 保護者から、高学年の児童で休みが続いていることから精神的に不安定になっている子が数名いると聞いた。そのケアを考えることはできないか。低学年の子は、それほどではないかと思うのが、高学年の子は、親よりも友達で、思春期のつながりがあり、信頼関係のある友達がいると安心できる、そういうものを求めているところがあると思う。休みが長く続くことによって、不安定になっているという現状を、先生方にも知ってもらいたい。女の子で特に感受性の強い子は、不安定になりやすいかも。先生方に、子どもが昼間に公園にいたら「どうした？」と声をかけてもらって、話を聞いてもらえるといいのではないかと思う。まだ休みが続くので、先生方にも気を配ってもらえるとありがたい。

熊田 公園で大きい子どもたちが群れている様子を見た。彼らもきっとストレスを抱えているに違いないと思って、多少の目はつむっている。若い子が絶対コロナにかからないとは言わないし、群れていいとは言わないが、ちょっと距離を取るとか心のケアをするなど、自分で上手にやっていくことも大切かと思う。小学生はまだ難しいとは思っているので、地域で見守ってあげたい。

熊倉 学校としては、集まっている子を頭ごなしに怒ることはしていない。保護者がいるようなら保護者に任せている。学区内を巡回して様子を見るようにしている。子どもだけで集まっていて、休業の趣旨を理解していない場合には指導する。職員は保護者と一緒だったり、公園で遊んでいる子たちに遊んじゃいけないと言わないようにしようとも話している。学校ではスクールカウンセラーの対応もできる。

服部 出かけられないと、余計に出かけたくなる所もあったりするのかも。

羽入 お母さんが子どもを連れて出かける姿が見られるようになった。早い時間だが、小学生の子どもを連れて散歩しているのを見かける。そういう方法も良いのでは。

小山田 友達同士で会うことが全てではなく、家族の中で・・・という考え方に帰ってきているところがあるのではないか。この状況が続くと、今までなかった家族の結びつきがよい方向に変化したり、今まで見えなかったことが見えるようになってきたりと思う。親子で散歩するだけでも気分転換にはなるし、普段できないことなので、少しやるだけでも人との関わり合いができると思う。まずは、親子でということでしょうか。

熊田 親子だけで解決できない問題もあるが、小山田さんのいうように、まずは親子の絆が大切というところかもしれない。

熊田 最後に、大貫さん。

大貫 南河内公民館社会教育指導員をしている。今年も子どもたちに「こんな教育があったらいいな」と思うことがあったら、提案してください。こういう状況は、半年か1年か、だんだん正常化してくると思う。その時、充実した教育活動をするための、準備の期間だと思っている。特に、地域とともにある学校づくりについては、皆さんのよいお考えを出していただけたらと思う。

熊田 第1回学校運営協議会を終了する。